

## 第31回周産期学シンポジウム 演題募集について

### テーマ「成熟児のasphyxiaとcerebral palsy」

会 長：北島博之（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科部長）

会 期：2013（平成25）年1月25日（金），26日（土）

開催地：大阪国際会議場グランキューブ（大阪市）

Asphyxia は古くて新しい問題であり，解決すべき事項が山積みになっています。更に，2009年の産科医療補償制度の発足や2010年の新生児蘇生ガイドライン改訂に伴う低酸素性虚血性脳症に対する低体温療法の推奨など asphyxia を取り巻く状況が大きく変わりつつあり，周産期医療従事者にとっては最も重要な疾病の1つです。

一方，脳性麻痺については，その原因は多岐にわたり発症機序については完全には解明されていません。Asphyxia に起因する低酸素性虚血性脳症のみならず，感染症や胎児発育不全なども脳性麻痺の原因となるため，脳性麻痺の発症率改善のためにはその実態を理解することが不可欠です。しかしながら，本邦においては脳性麻痺発症数の全国規模の調査が行われていないため正確な患者数の把握がされておらず，疫学的なアプローチをすることができません。また，周産期に携わる産科医，新生児科医と長期的なフォローや療育に関わる小児神経科医との連携も十分とはいえず，医学的にも医療的にも議論すべき事項は数多く残っています。

そのような観点から，今回のテーマを「成熟児の asphyxia と cerebral palsy」にいたしました（今回は，早産児の cerebral palsy については議論の対象としません）。「asphyxia」と「cerebral palsy」を多方面からアプローチして，周産期医療の更なる向上につなげたいと考えます。多数の演題の応募を期待しております。

2011年8月

#### 〈キーワード〉

産 科：常位胎盤早期剥離，臍帯脱出，胎児機能不全，分娩誘発，過強陣痛，  
娩出時期，モニタリング，子宮破裂，VBAC（vaginal birth after cesarean），  
遷延分娩，子宮内感染，絨毛羊膜炎，骨盤位分娩

新生児：NCPR（neonatal cardiopulmonary resuscitation），脳機能モニター，  
脳低温療法，薬剤による脳保護，再生医療，画像診断，長期予後，  
リハビリテーション，フォローアップ

その他：家族の心のケア，在宅支援，行政による支援，産科医療補償制度，  
母体搬送・新生児搬送，基礎研究，モデル動物，フリーラジカル，サイトカイン  
以上

周産期学シンポジウム運営委員会委員長 齋藤 滋

## 第31回周産期学シンポジウム

### 応募要項

- \*発表者は、原則として会員に限ります。
- \*演題応募を希望される方は、学会ホームページから「応募用紙」「抄録用紙」および「演題応募上の注意」をダウンロードして下さい。
- \*演題応募する際は、応募用紙に必要事項を記載の上、抄録本文と共にE-mailの添付文書として学会事務局宛に送信して下さい。E-mailの件名は、「第31回周産期学シンポジウム応募演題」として下さい。
- \*抄録本文は、800文字以内とし、MS Word形式で保存して下さい。
- \*演題応募段階で調査・研究が終了していない場合には、最終選考およびシンポジウムでの発表までの調査・研究計画を具体的に提示する必要があります。この詳細は、抄録本文とは別に「今後の研究計画」として800字以内にまとめ、抄録本文および応募用紙と共に事務局宛に送信して下さい。
- \*受付後は、1週間以内に事務局よりE-mailにて抄録到着のお知らせをいたします。連絡のない場合には確認をお願いいたします。
- \*演題の採否は周産期学シンポジウム運営委員会で討議し決定し、2011年11月30日（水）までに採用候補演題か否かをお知らせいたします。
- \*採用候補演題の応募者には、2011年12月22日（木）の最終選考会に参加していただき、7分間の発表と8分間の討議を行っていただきますので、出席の準備をお願いします。
- \*最終選考の結果は2011年末までにお知らせいたします。
- \*2012年のシンポジウム開催時に、発表予定者に来ていただき、発表内容についてさらに詳細な検討を行うことがあります。

\*応募締切：~~2011年10月31日（月）12：00必着~~

**2011年 11月7日（月）12：00必着**

\*送信先：E-mail：info@jspnm.org

日本周産期・新生児医学会事務局

〒162-0845 新宿区市谷本村町2-30 メジカルビュー社内

電話：03-5228-2074 FAX：03-5228-2104

※「応募用紙」「抄録用紙」は、こちらからダウンロードして下さい。

応募用紙：<http://www.jspnm.com/topics/data/topics110817.xls>

抄録用紙：<http://www.jspnm.com/topics/data/topics110817.doc>

## 演題応募上の注意

1. 同一施設からの応募数に制限はありませんが、同一発表者が複数の演題を応募することはできません。
2. 発表者は原則として会員に限ります。
3. 応募用紙に必要事項を入力し、抄録本文と共にE-mailの添付文書として学会事務局宛に送信して下さい。
  - \*E-mailの件名は「第31回周産期学シンポジウム応募演題」として下さい。
  - \*受付後は、1週間以内に事務局よりE-mailにて抄録到着のお知らせをいたします。連絡のない場合には確認をお願いいたします。
4. 応募用紙のファイル名は発表者名-応募用紙とし、拡張子をつけて下さい。  
(例：山田太郎-応募用紙.xls)
5. 抄録本文は800字（プリントA4判1頁）以内で作成し、MS Word形式で保存して下さい。
6. 抄録は原則として、目的、方法、結果、考察の順に記載して下さい。
7. 抄録本文のファイル名は発表者の名前とし、拡張子をつけて下さい。  
(例：山田太郎.doc)
8. 抄録本文中には具体的施設名を記載しないで下さい。
9. 個人情報や生命倫理など、特に倫理的配慮を必要とする研究である場合は、行った具体的な配慮について本文中に記載して下さい。
10. 演題応募段階で調査・研究が終了していない場合には、最終選考およびシンポジウムでの発表までの調査・研究計画を具体的に提示する必要があります。この詳細は、抄録本文とは別に「今後の研究計画」として800字（プリントA4判1頁）以内にまとめ、抄録本文および応募用紙とともに事務局宛に送信して下さい。
11. 送信先：[info@jspnm.org](mailto:info@jspnm.org)（日本周産期・新生児医学会事務局）
12. 応募用紙への入力への注意は以下の通りです。
  - 1) 青色のセルは入力用です。テキストを入力して下さい。
  - 2) 黄色のセルは選択用です。選択肢の中から選択して下さい。
  - 3) 演者情報には、発表者（演者1）を含む演者の氏名と会員番号を入力し、施設番号、会員／非会員および主な診療科を選択して下さい。発表者の施設番号は1になります。発表者と同一施設の演者の施設番号は1を選択して下さい。非会員の会員番号は9999999（7桁）を入力して下さい。演者が10を超える場合は、行を追加して同様に入力して下さい。
  - 4) 発表者の連絡先を入力して下さい。住所は市区・町・番地の欄に分割して入力して下さい。E-mail確認入力の欄にはコピー&ペーストせずに、アドレスを入力して下

さい。赤字で「E-mailアドレスを確認」と表示される場合は、前の欄と食い違いがありますので、確認して下さい。

- 5) 発表者と所属施設が異なる演者がいる場合は、施設番号2以降に施設名を入力して下さい。施設数が10を超える場合は、行を追加して同様に入力して下さい。
- 6) 演題名を入力して下さい。演題名は改行せず、1行に入力して下さい。サブタイトルがある場合は、2行目に入力して下さい。
- 7) キーワード1および2を選択して下さい。
- 8) チェックリストの各項目を選択して下さい。特別な倫理的配慮が必要ではない演題の場合は、「配慮不要」および「倫理的配慮不要」を選択して下さい。

以上